意 赤 谷 子

部分の譯文を如何に思ふかの問合せあり。 今年四月、 突如古巢の新聞社の外務省の所謂霞クラブ擔當記者より、 主要七か國外相會合に於いて「廣島宣言」 なる文書採擇せられ 翻譯者として宣言文のある たり。 其 の翌

より廣島と長崎 を翻譯せられたる文章とは必ずしも正確とは言ひ難し。 ふ強き言葉ありて、 人間的とは明記せられてはをらず。 過去四十年、 當然原文は英文にて、 英譯の仕事こなして來たる專門家としての意見聞きたしとの の人々は「非人間的苦難といふ結末を經驗し」とある部分なり。 完全に不正確と言ふを得ず。 メディア等に掲載せられたる文章はその邦譯なり。 しかれども、 人間的苦難の前に 問題になりたる箇所は原爆投下に 「甚大なる壞滅」とい 电。 確かに原文 原文は非 外相會合

譯なりと覺ゆと、 望する安倍政權としては、 伊勢志摩に於て當時開催豫定の主要七か國首腦會合 苦肉の策とみたり。 擔當記者に説明す。 吾はこの翻譯は誤譯と言ふは非ず、 その宣言文によりて米國の國民感情を逆なでするを避けたしと [の後、 最大限許容せらるる範圍 オバマ大統領の 廣島訪問 を要 一の意

言ひたき事あり」と文句を呈す。 とも居心地惡しき事このうへなく、 翌日、 し事を知る。 さる知己の 外務省の譯文と並列せられたる吾の意見の大きなる記事に仰天し、 大學教授より我意見に四 父存命ならばこの記事に對し、 擔當記者に の五の言ふファクス屆き、 「かかる大きなる記事にあらば、 何と覺えしかと、 初めて紙面に掲載 なほ色々 考へ込 何

(平成二十八年九月二十六日受附)